

28年2月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年 2月1日～ 28年2月10日

2. 調査実施方法

全国の国産材製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
2月分の回答企業数は13社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

ア. 国産材

(1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
入荷動向	スギ	5.6	27.8	22.2
	ヒノキ	△ 8.3	25.0	33.3
	カラマツ	—	—	—
	トドマツ	50.0	50.0	△ 100.0
消費動向	スギ	11.1	5.6	11.1
	ヒノキ	16.7	33.3	25.0
	カラマツ	—	—	—
	トドマツ	0.0	100.0	0.0
在庫動向	スギ	5.6	16.7	5.6
	ヒノキ	10.0	20.0	30.0
	カラマツ	—	—	—
	トドマツ	50.0	0.0	△ 50.0

・スギ原木の入荷は3ヵ月連続して増加。ヒノキは2月の減少が、3月、4月は増加。トドマツは2月、3月の増加が、4月は減少。

・スギ及びヒノキ原木の消費は3ヵ月連続して増加。トドマツは2月の横ばいが、3月は増加、4月は横ばい。

・スギ及びヒノキ原木の在庫は3ヵ月連続して増加。トドマツは2月の増加が、3月は横ばい、4月は減少。

(2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

品目	28/2月	3月	4月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	16.7	△ 8.3	△ 8.3
カラマツ	—	—	—
トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ及びトドマツ原木の価格は3ヵ月連続して横ばい。ヒノキは2月のやや強保合が、3月、4月はやや弱含み。

モニターからのコメント

' (原木荷動き)

・トドマツの入荷順調、これから暖くなるため挽き立て増える。在庫は挽き立て量に合わせて減少（北海道）。

・雪の影響がなくなり、入荷は今後増加する見込み。消費は並、先月はヒノキ製品が出来なかったため、当月はまとめて製材。在庫は現状維持（中部）。

・2月は少し減りそう。入荷は、出材・相場にもよるが少し抑える。在庫を見ながら生産、在庫を少し増やす程度をねらう。在庫は、入荷が減るので少し減る見込み（中国）。

・雪の影響もありスギの出材は少ない。仕入量はかなり減少。生産量を入荷に合わせて調整していたが、増やしたい。仕入が少ない分在庫が減少（中国）。

・積雪の懸念も薄れ、安定して入荷している。冬季のため機械はフル操業出来ていない。市場での滞留丸太が増えてきた（九州）。

・天候不良も少なく、気温も上昇すれば多量の出材が見込める。合板業界の生産調整が若干気になるが、基本的にはスムーズに消費されていくのでは（九州）。

(原木価格)

・変化なし（北海道）。

・出材量は増加のため価格への影響はないだろう（中部）。

・2月は上昇すると予想。ただし、出材量が出れば横ばい（中国）。

・ヒノキ柱材に関しては少し強含み（ヒノキ10, 5cm角は荷動きが良い）、その他は余り変わらず（中国）。

・在庫をある程度は確保していく必要がある（九州）。

28年2月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

(3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
生産動向	スギ	△ 5.6	11.1	11.1
	ヒノキ	0.0	8.3	8.3
	カラマツ	—	—	—
	トドマツ	0.0	100.0	50.0
出荷動向	スギ	△ 27.8	11.1	0.0
	ヒノキ	△ 8.3	25.0	25.0
	カラマツ	—	—	—
	トドマツ	0.0	50.0	50.0
在庫動向	スギ	△ 5.6	△ 11.1	0.0
	ヒノキ	0.0	0.0	8.3
	カラマツ	—	—	—
	トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ製材品の生産は2月の減少が、3月、4月は増加。ヒノキ及びトドマツは2月の横ばいが、3月、4月は増加。

・スギ製材品の出荷は2月の減少が、3月増加、4月は横ばい。ヒノキは2月の減少が、3月、4月は増加。トドマツは2月の横ばいが、3月、4月は増加。

・スギ製材品の在庫は2月、3月の減少が、4月は横ばい。ヒノキは2月、3月の横ばいが、4月はやや増加。トドマツは3ヵ月連続して横ばい。

(4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
スギ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	△ 5.6	0.0	0.0
	通し柱 12×6	8.3	8.3	8.3
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	6.3	0.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	5.6	5.6	5.6
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
	ラミナ	12.5	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	7.1	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	土台角 10.5×4	7.1	△ 7.1	△ 7.1
	土台角 12×4	0.0	△ 7.1	△ 7.1
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	ラミナ	0.0	0.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
〃 梱包仕組み板	—	—	—	
〃 ラミナ	—	—	—	
トドマツサンギ	0.0	0.0	0.0	

・スギ通し柱及び間柱はやや強含みで推移。その他の品目は、2月に一部でやや弱保合ないしやや強保合のものがあるが、総じて横ばい。

・ヒノキ柱角は、10.5cm角が2月はやや強保合、3月、4月は横ばい、12.0cm角は3ヵ月連続して横ばい。土台角は、2月にやや強保合ないし横ばいだが、3月、4月はやや弱含み。通し柱及びラミナは3ヵ月連続して横ばい。

・トドマツサンギは3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(製材品荷動き)

- ・生産順調。需要の盛り上がりは未だ。生産量に合わせて出荷も増えることを期待（北海道）。
- ・2月注文量は少ないが、3月以降増加が見込まれるため生産に注力。出荷は平年並み、2月は低調、3月以降は増加。在庫水準低いため在庫の積み増しをする（中部）。
- ・生産量は一定と考える。在庫が増えすぎると生産は減らす。出荷は2月は減少の見込み。製品在庫は一定に、仕掛けは少しづつ増やす（中国）。
- ・製品在庫が減って来ている（特にヒノキ）ため、倉庫に余裕が出て来た。半製品を積み増したい。荷動きはなかなか回復しない、特に冬場は例年通り山陰、北陸の需要が少ない。生産を抑えたため（主に丸太事情で）在庫はスギ、ヒノキとも減少（売れ出した訳ではない）（中国）。
- ・気温上昇に向けて生産体制を整えているところ。大きな需要変動は見受けられない。在庫をある程度は確保していく必要がある（九州）。
- ・オーダーを持っている製材メーカーは比較的忙しい状況なので、残業等を行っているメーカーも少なくない。後は、消費税がらみ次第ではないか。ハウスメーカーはわりかし忙しく、製材メーカーへのオーダーも現在多い。どこで一服感がでるか（九州）。
- ・スギ需要激減（九州）。

(製材品出荷価格動向)

- ・変化なし（北海道）。
- ・スギ間柱は価格改訂のため値上げ、それによりラミナ価格も値上げしていく。その他のアイテムは影響を感じず。ヒノキ原木は安い、荷動きは堅調な印象（中部）。
- ・スギ正角（KD）、1月に入り売行き少し悪い（東北）。
- ・ヒノキの相場は安値で安定すると予想（中国）。
- ・スギ柱角は変化なし。ヒノキ10.5cm角、3m, 4mは上昇というより安値材がなくなった（中国）。
- ・スギは価格の上げも下げもない。製材工場からの要求は控えている。ヒノキは価格変動なし。水準としては例年より安い価格で安定している（九州）。

28年2月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

イ. 外材

(1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
仕入動向	米マツ丸太	0.0	50.0	50.0
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
消費動向	米マツ丸太	50.0	50.0	0.0
	NZラジアータ	0.0	△ 50.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
在庫動向	米マツ丸太	0.0	0.0	0.0
	NZラジアータ	0.0	50.0	50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—

・米マツ丸太の仕入は2月の横ばいが、3月、4月は増加。ニュージーランド丸太は3ヵ月連続して横ばい。

・米マツ丸太の消費は2月、3月の増加が、4月は横ばい。ニュージーランド丸太は2月の横ばいが、3月、4月は減少。

・米マツ丸太の在庫は3ヵ月連続して横ばい。ニュージーランド丸太は2月の横ばいが、3月、4月は増加。

(2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/2月	3月	4月
米マツ丸太	50.0	0.0	0.0
NZラジアータ丸太	50.0	50.0	50.0
北洋エゾマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ原板	—	—	—

・米マツ丸太の価格は2月の強含みが、3月、4月は横ばい。ニュージーランド丸太は強含みで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動)

・ニュージーランド丸太は、中国正月の影響で1月末より全ての資材の動き悪い。2月以降も多少戻るが、中国国内景気が悪いため、出荷増は期待出来ない（中国）。

28年2月分

製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

(3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
生産動向	米マツ製材品	50.0	50.0	0.0
	NZラジアータ製材品	0.0	△ 50.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
出荷動向	米マツ製材品	0.0	100.0	50.0
	NZラジアータ製材品	0.0	△ 50.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
在庫動向	米マツ製材品	100.0	100.0	50.0
	NZラジアータ製材品	0.0	50.0	50.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—

・米マツ製材品の生産は2月、3月の増加が、4月は横ばい。NZラジアータ製材品は2月の横ばいが、3月、4月は減少。

・米マツ製材品の出荷は2月の横ばいが、3月、4月は増加。NZラジアータ製材品は2月の横ばいが、3月、4月は減少。

・米マツ製材品の在庫は3ヵ月連続して増加。NZラジアータ製材品は2月の横ばいが、3月、4月は増加。

(4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		28/2月	3月	4月
米マツ平角		0.0	0.0	0.0
米マツ正角		0.0	0.0	0.0
米マツ小割		0.0	0.0	0.0
北洋エゾマツタルキ		—	—	—
北洋アカマツタルキ		—	—	—
NZ梱包材(割板)		0.0	0.0	0.0
NZ梱包材(割角)		0.0	0.0	0.0
NZ土木用材		0.0	0.0	0.0
その他		—	—	—

・米マツ平角、正角及び小割の出荷価格は3ヵ月連続して横ばい。

・NZ梱包材(割板、割角)及び土木用材の出荷価格は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(製材品荷動き)

・NZラジアータ製材品は中国正月の影響で1月末より全ての資材の動き悪い。2月以降も多少戻るが、中国国内景気が悪いため、出荷増は期待出来ない(中国)。